

事故 管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏 名	職種	年齢	勤続	損害程度(品目・負傷状況) (損害額)	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事 故 内 容
													名称	本・支店、工場	

1	J8100457	2026.03.06	金	19:00	貨物	北信越	新潟営業所	業務職社員	業務	57	36年7ヶ月	制震パネル部材 24枚 4,800,000円	-		—	客先の工場建屋内で、制震パネル部材が、倉庫に2段積みで格納し保管していたが、製品が不安定な状態だった為、製品梱包が変形し荷崩れが発生し製品を破損させた。
	確認日	2026/3/26	木	確認者 (安全)		発生要因	■ 不安定であると認識はあったが、荷姿を整えたら品質上の問題ないと判断、自重で梱包が変形して崩れる想定ができなかった。 ■ 段積みについての製品知識が欠落していた。 ■ 管理者、作業者ともに製品知識がなく危険予知能力が不足していた。					再発防止対策	■ 当該商品の2段積保管を禁止し、現物への識別表示を行った。 ■ 2段積禁止のワンポイントを作成し全作業員に周知教育した。 ■ 手順書を用いて、製品取扱上の注意点の確認会(勉強会)を全作業員へ実施し周知した。			

2	J8100466	2026/3/12	木	00:20	貨物	関西	京都BC	協力会社乗務員	乗務	51	7年0ヶ月	ステンレス製自動転倒堰 あおり 1,000,000円	—		—	栗東インター出口カーブを走行中、製品が助手側に倒れ、固定していたラッシングが切れ進行方向左側に落下し道路、関連施設を破損した。
	確認日	2026/3/26	木	確認者 (安全)		発生要因	■ 元請会社、当社を含め貨物情報を事前に把握していなかった。 ■ 固縛を荷主指示の元行い運搬したが不安を感じたままでいた(乗務員はチェーンブロックを提案)。					再発防止対策	■ 事故内容と当該商品を扱う場合の固縛や養生方法を全乗務員に周知した。 ■ 副次請負であっても荷主から積荷の詳細情報や固縛方法、養生方法、運転条件を把握し乗務員へ送り出し教育ができるようにした。 ■ 乗務員は、積込荷姿や固縛状況、養生及び危険察知についても配車係へ報告するルールを定め継続できるよう全乗務員へ周知した。			

3	J8100470	2026/3/16	月	09:10	労災	九州	福岡	協力会社乗務員	乗務	60	0年6ヶ月	左手首粉碎骨折	90日		—	協力会社乗務員が、納品先の戸建て建築現場で荷卸しのため、荷台のシートをはがし丸めていたが、ゴムバンドがはみ出ていることに気づかず、足を引っかけてバランスを崩し、荷台から落下、手首を骨折した。
	確認日	2026/3/30	月	確認者 (安全)		発生要因	■ 乗務員任せでシートを外す際の手順の周知及び注意喚起ができていなかった。 ■ 乗務員の経験値や力量を把握せず、依頼を継続していた。					再発防止対策	■ 手順書「トラック用シートの安全な外し方」を作成し、乗務員へ再教育を実施、協力会社へ指導の徹底を行った。 ■ 積込作業、配送時の対応から乗務員の力量を把握し、依頼可否を判断した。			